

平成29年度鹿児島県管理空港別収支試算の公表について

平成30年12月20日

土木部港湾空港課

県では、空港の効率的な運営や有効利用の推進につなげるため、県管理の空港（種子島、屋久島、奄美、喜界、徳之島、沖永良部、与論）の平成29年度の空港別収支の試算結果を作成しました。

これら7空港は、住民の生活の利便性の向上や、観光の振興など、地域の活性化にとって必要不可欠な施設であり、県では今後とも利用促進や、効率的な運営に努め、空港の有効利用を図ってまいります。

1 歳入

項 目	説 明
着陸料・停留料	空港を利用する航空機から徴収する着陸料及び停留料（減免適用後の金額）を計上
土地使用料	ターミナルビル会社等に貸し付けている県有地の使用料を計上
航空機燃料譲与税	各空港に配分した航空機燃料譲与税相当額を計上 ※航空機燃料譲与税は、空港別の税額が公表されていないため、着陸料等をもとに空港別の金額を試算しています。
国庫受入れ	空港整備等に伴う国からの補助金等を計上

2 歳出

項 目	説 明
空港整備費	空港整備にかかる工事経費を計上
空港管理費	空港を運営・管理するための経費を計上 （空港管理事務所の運営経費、ハイジャック対策経費、消防施設経費、電気工作物等保安管理経費等）
県有資産所在市町村交付金	国有資産等所在市町村交付金法に基づく、空港の所在する市町への交付金額を計上

3 着陸料の減免について

本県では、離島振興対策の一環として、航空会社等に着陸料の減免措置を適用しており、平成29年度の減免金額は、約3億6千6百万円となっています。

この減免措置は、離島航空路が本土と隔絶した離島を結ぶ極めて重要な交通手段であり、離島にお住まいの方の生活の安定・向上と地域の振興のため、必要不可欠なものとして、その公共性が極めて高いことから実施しているものです。

なお、着陸料の減免分については、離島にお住まいの方を対象とした航空運賃の「離島航空割引制度」の原資の一部となっています。

○着陸料減免の内容

要 件	減 免 率
国内定期航空運送事業及び観光客を運送する目的のため、最大離陸重量6トン以下の航空機（ターボジェット機を除く。）が着陸する場合 （対象機種：BN2等 ※現在就航なし）	全 額
国内定期航空運送事業及び観光客を運送する目的のため、最大離陸重量6トンを超える航空機（ターボジェット機を除く。）が着陸する場合 （対象機種：DHC8-Q400, SAAB340B等）	8分の7
国内定期航空運送事業及び観光客を運送する目的のため、ターボジェット機が着陸する場合 （対象機種：B737-800, A320等）	6分の5

○平成29年度の各空港における減免金額（単位：千円）

空 港 名	減免金額
種 子 島	14,079
屋 久 島	26,550
奄 美	249,607
喜 界	9,140
徳 之 島	42,333
沖永良部	13,289
与 論	11,002
合 計	366,000

※公用等に係る停留料の減免額144千円を含む。

平成29年度鹿児島県管理空港別収支試算

(単位:千円)

		種子島	屋久島	奄美	喜界	徳之島	沖永良部	与論	合計	比較(H29-28)
歳入項目	着陸料・停留料	(17,630)	(30,435)	(297,506)	(10,522)	(50,492)	(15,601)	(12,820)	(435,006)	(117,505)
		3,551	3,885	47,899	1,382	8,159	2,312	1,818	69,006	20,832
	土地使用料	3,291	3,865	9,707	528	2,771	337	230	20,729	398
	航空機燃料譲与税	2,211	2,494	30,875	886	5,239	1,489	1,149	44,343	1,627
	国庫受入れ (空港整備等に伴う補助等)	13	62,952	174,330	14,400	0	0	4	251,699	72,108
歳入項目合計:(A)		9,066	73,196	262,811	17,196	16,169	4,138	3,201	385,777	94,965
比較(H29-28)		992	▲50,524	133,044	14,437	6,974	▲9,619	▲339	94,965	

歳出項目	空港整備費	8,553	126,681	239,717	21,173	11,729	5,113	15,033	427,999	93,500
	空港管理費	110,963	71,518	208,669	39,795	84,993	42,172	43,090	601,200	▲11,680
	県有資産所在市町村交付金	7,729	3,523	11,957	2,175	5,433	5,008	1,519	37,344	0
歳出項目合計:(B)		127,245	201,722	460,343	63,143	102,155	52,293	59,642	1,066,543	81,820
比較(H29-28)		14,723	▲53,799	129,328	13,822	▲8,791	▲18,702	5,239	81,820	

		種子島	屋久島	奄美	喜界	徳之島	沖永良部	与論	合計	比較(H29-28)
歳入・歳出差引き:(A)-(B)		▲118,179	▲128,526	▲197,532	▲45,947	▲85,986	▲48,155	▲56,441	▲680,766	13,145
比較(H29-28)		▲13,731	3,275	3,716	615	15,765	9,083	▲5,578	13,145	
(参考)着陸料・停留料の減免金額		14,079	26,550	249,607	9,140	42,333	13,289	11,002	366,000	96,673
比較(H29-28)		2,091	843	72,217	731	19,993	▲94	892	96,673	

○収支に関する特徴・留意点

- ・着陸料・停留料は、鹿児島県空港の設置及び管理に関する条例に基づく減免適用後の実際の徴収金額です。また、上記()は減免適用前の金額で外数です。
- ・歳入と歳出の差額((A)-(B))が、県の一般財源等の額になります。
- ・県では、離島振興対策の一環として、着陸料・停留料の減免を実施しており、平成29年度の減免額は約366百万円となっています。
なお、着陸料・停留料の減免分は、離島にお住まいの方を対象とした航空運賃の「離島航空割引制度」の原資の一部として還元されており、航空運賃の負担軽減が図られています。

(参考)

- ・鹿児島空港を含む国管理空港の空港別収支試算結果は、国土交通省のホームページに掲載されています。

※ 国管理空港収支公表HPアドレス : http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000181.html